



Student/Registration Number

Centre Number

2012 SPECIMEN PUBLIC EXAMINATION

Heritage Japanese

Reading Time: 10 minutes

Working Time: 2 hours and 30 minutes

- You have 10 minutes to read all the papers and to familiarise yourself with the requirements of the questions. You **MUST NOT** write during this time.
- Monolingual and/or bilingual printed dictionaries may be consulted during the reading time and also during the examination.
- Print character dictionaries may be consulted during reading time and also during the examination.

Section 1: Responding to texts (50 marks)

Instructions to Students

1. This section will take approximately 1 hour and 45 minutes.
2. Write all your answers to the questions in Section 1 in this booklet in blue or black pen. Space is provided for you to make notes.
3. You must answer ALL questions.
4. Answer in ENGLISH or in JAPANESE as required.
5. Write your student/registration number and the centre number (if required) on the front cover of this booklet.
6. This question booklet will be collected at the end of the examination.



Australian Government

This work was funded by the Australian Government Department of Education, Employment and Workplace Relations under the School Languages Program.

Total marks – 50 marks

Attempt Questions 1–5

In your answers to Section 1, you will be assessed on how well you:

- *summarise and/or synthesise information and ideas from texts*
- *infer points of view, opinions and attitudes*
- *respond personally and critically to texts*
- *analyse the way in which culture and identity are expressed*
- *communicate relevant information and ideas in either comprehensible JAPANESE or ENGLISH as required*
- *create texts in a variety of forms appropriate to a range of contexts, purposes and audiences*
- *demonstrate control of a range of language structures and vocabulary in JAPANESE*

Marks

Question 1 (5 marks)

Text 1 will be played twice. There will be a short break between the first and second playings in which you may make notes.

LISTEN to Text 1 and then answer the question that follows.

1. 田中さんの生活と仕事に対する態度がどう変化したかを150字程度の日本語でまとめなさい。 5

Summarise how Mr Tanaka’s attitude to his life and work has changed. Write approximately 150 *ji* in JAPANESE.

75

Question 1 continues on page 3

Question 1 (continued)

150

End of Question 1

You may make notes in this space.

Question 2 (5 marks)

READ Text 2 and then answer the question that follows.

Text 2 – Song

No. 1にならなくてもいい もともと特別なonly one

花屋の店先に並んだ いろんな花を見ていた
 ひとそれぞれ好みはあるけど どれもみんなきれいだね
 この中で誰が一番だなんて 争うこともしないで
 バケツの中誇らしげに しゃんと胸をはっている

それなのに僕ら人間は どうしてこうも比べたがる？
 一人一人違うのにその中で一番になりたがる？

そうさ僕らは 世界に一つだけの花 一人一人違う種を持つ
 その花を咲かせることだけに 一生懸命になればいい

2. 作詞者はこの歌の歌詞を通して、文化とアイデンティティーに関連して何を伝えようとしていると思いますか。200字程度の日本語で書きなさい。 5

What do you think the songwriter is attempting to communicate in relation to culture and identity through the lyrics of the song? Write approximately 200 *ji* in JAPANESE.

Question 2 continues on page 5

Question 3 (10 marks)

Text 3 will be played twice. There will be a short break between the first and second playings in which you may make notes.

LISTEN to Text 3 and READ Text 4 and then answer the question that follows.

Text 4 – Diary entry

橋本陽子さんの日記

3月17日（水）

日本に帰ってきて一週間。日本の学校は初めてだから、全然分からない。だから、私は何も言わないで、みんなの言うことを聞いているだけ。クラスの人は何でも教えてくれる。日本の人はみんなとても親切だ。

4月20日（火）

学校にも慣れてきた。だから授業中、自分が思っていることや考えていることを言ってみた。色々な事にも自分から進んで参加するようにした。そうしたら、クラスの人に「おとなしい人だと思っていたのに、本当はちがうんだね。」「何でもはっきり言う人なんだね。」と言われた。今まで親切だった人が、急によそよそしくなって、みんな私に話しかけてこなくなった。

6月25日（金）

みんなとうまくやっていくためには、相手のことを考えなければいけない。相手の気持ちを考えることが大切だ。「私がこう言ったら、その人はどう思うか、どう感じるか。」そういうことを考えて行動し始めたら、友達もどってきた。新しい友達もふえて、今は学校がとても楽しい。

Question 3 continues on page 7

You may make notes in this space.

Question 4 (15 marks)

READ Text 5 and Text 6 and then answer the questions that follow.

Text 5 – Book review

今週の本

先日松浦昭次さんの「*宮大工 千年の知恵」という本を読んだ。元々中国から来た寺も、日本の気候と美的感覚に合うように少しずつ工夫をしながら変化した。元の設計図とちがって、少しバランスを崩して建物を美しく見せた。その昔の大工の技術はすばらしかったそうだ。だが、松浦さんはその知恵が失われていくことをなげいている。理由の一つは*建築基準法という法律と大学の専門家のアドバイスだ。

千年以上も前の建物はクギもほとんど使わなかったが、地震の時も壊れなかった。「法律によってコンクリートと鉄を使った寺が次の千年もつかどうかは保証できない」と松浦さんは言う。気候の変化が激しい日本では、あまりクギを使わない方がいい。木が膨らんだり縮んだりできるからだ。だが、法律はそれを認めない。

また、大学の教授や設計士は、十分に自分の目で寺を調べないで論文を書いたり、設計をしたりすることもあるそうだ。そして寺の修理がその通りでないと、受け入れられない。「こちらの方が日本の美的感覚に合います」という松浦(まつうら)さんの意見がかならずしも通るわけではない。昔の寺は何百年ももつが、今の家はせいぜい30年しかもたない。また*法隆寺を修理できるような樹齢1000年の木は輸入しなければならぬそうだ。文化を守るとき、目に見えない知恵や技術、そしてその国の環境ももっと大切にすべきだ。

Vocabulary

- *宮大工 *temple/shrine carpenter*
- *建築基準法 *building regulations*
- *法隆寺 *a temple in Nara, whose pagoda is acknowledged as one of the oldest wooden buildings in the world*

Text 6 – Extract from blog

お正月のおせちは大成功！ベトナムの生春巻き、和風ローストビーフと中華風肉団子。子供達も主人も大満足。みんな伝統的なのはあんまり食べないから、これからはこれが我が家のおせち料理！

Question 4 continues on page 10

Question 5 (15 marks)

READ Text 7 and then answer the question that follows.

Text 7 – Flyer

講演会 アフガニスタンの回復と平和への道
10月25日 日曜日 2:00pm 市民会館

参加費(ひ) : 千円
スピーカー : 中村哲氏 医師として25年、
パキスタン・アフガニスタンで活動

医者だけれど、*聴診器より*重機の使い方のほうが上手です。
井戸も掘りました！

遠い国のこと？何もできない？何もしなくてもいい？
「見て見ぬふり」でいいの？

地球温暖化でアフガニスタンの砂漠(さばく)化がすすむ
日本の排気ガス排(はい)出量(りょう)は世界で5番目
袖振り合うも他生の縁!!
あなたの参加費がこの写真の用水路になります。
あなたの千円がこの子供たちに未来を！

中村先生：
汚い水を飲んで目の前で次々死んでいく子供。あなたが医者なら、どうしますか。
私が出した答えは「清潔な水と十分な食べ物で子供の命を救う—それが平和への第一歩」でした。
日本とアフガニスタンは、自然条件と治水対策が非常に似た点があるんです。日本では使われなくなった江戸時代の治水技術の伝統と知恵。これがアフガニスタンで役に立つんです。
あなたの無関心が一人の子供の人生を・・・

Vocabulary

*聴診器 *stethoscope*

*重機 *heavy machinery*

Question 5 continues on page 14



Student/Registration Number

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

Centre Number

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2012 SPECIMEN PUBLIC EXAMINATION

Heritage Japanese

Section 2: Creating texts in Japanese (25 marks)

Instructions to Students

1. Allow approximately 45 minutes for Section 2.
2. You must answer ONE question in JAPANESE.
3. Write your answer in this booklet in blue or black pen. Space is provided for you to make notes.
4. Write your student/registration number and the centre number (if required) on the front cover of this booklet.
5. This question booklet will be collected at the end of the examination.



Australian Government

This work was funded by the Australian Government Department of Education, Employment and Workplace Relations under the School Languages Program.

Total marks – 25 marks

Attempt either Question 6 or Question 7

In your answer you will be assessed on how well you:

- *demonstrate the relevance of information and ideas*
 - *write text appropriate to audience, context and purpose*
 - *structure and sequence information and ideas*
 - *demonstrate control of a range of language structures and vocabulary in Japanese*
-

Answer ONE of the following questions. Write approximately 500 *ji* in JAPANESE.

6. 日本語コミュニティースクールは一連^{いちれん}のエッセーを学校新聞^{けいさい}に掲載して、日本の文化背景を持つ子供に日本語を教えるプロモーションを計画しています。日本語の知識と日本の文化背景がオーストラリア国民としてのあなたにどのように役に立ったか、というテーマのエッセーを書きなさい。

A Japanese community language school wants to promote teaching Japanese to children with Japanese heritage by publishing a series of essays in its newsletter. Write an essay for the newsletter in which you, as a citizen of Australia, reflect on the usefulness of your knowledge of Japanese language and your cultural heritage.

OR

7. オーストラリアの日本語コミュニティー新聞に、最近の日本人の若者はコミュニティーの年上の人たちとあまり交流していないことを批判した記事が掲載されました。この新聞^{へんしゅう}の編集者^{へんしゅう}あてに、若者がどのようにコミュニティーとかわわっているか^{ひょうか}を評価^{ひょうか}する手紙を書きなさい。

An article in a local Japanese newspaper has included the following statement, ‘Young Japanese today are indifferent to the older members of their community.’ Write a letter to the editor of this newspaper in which you respond critically to this statement.

You may make notes in this space.

Question Number:

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

120

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

255

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--



2012 SPECIMEN PUBLIC EXAMINATION

Heritage Japanese

Section 1: Responding to texts

Transcript of Listening Texts

- Text 1
- Text 3

Section 1: Responding to texts

Text 1

(田：田中、イ：インタビューする人)

イ： 田中さん、はじめまして。よろしくお願ひします。

田： よろしくお願ひします。

イ： 田中さんは現在、オーストラリアにお住まいですね。

田： はい、そうです。

イ： オーストラリアに来る前はどんなお仕事をしていたんですか。

田： 東京にあるぼうえき会社に勤めていました。いつも忙しくて、昼ごはんを
食べる時間もない時もあったし、本当に忙しい時は会社に泊まることもありま
したよ。

イ： へえー、大変でしたね。そんな生活について、どう思っていましたか。

田： 朝は6時に家を出て、家に帰るのは夜の11時か12時が普通でした。でも、それ
について、変だとかおかしいとか思ったことは一度もありませんでした。

イ： そうですか。でも奥さんや子供さんはさびしかったんじゃないですか。

田： かもしれせん。でも、給料がよかったので、妻も子供も好きなものが買えた
はずですよ。

イ： そうですか。

田： 日本の会社の中でえらくなりたかったので、仕事ばかりして、家族と過ごす時
間はほとんどありませんでした。私がお金をたくさん稼いで、広い家に住んだ
り、子供にいい教育を受けさせたりすることができれば、家族は幸せなんだと
考えていました。

Text 1 (continued)

イ： そして、会社の命令でオーストラリアに来たんですよね。

田： ええ、そうですね。

イ： そして、それが田中さんの人生を変えることになりましたね。

田： はい。オーストラリアに住み始めたら、日本での私の生活はちょっと違うと思うようになりました。オーストラリアでも仕事熱心な人はいますが、仕事と家族や自分の時間のバランスが大切だと思われています。2年たってから、その日本の会社をやめて、オーストラリアに移住することにしました。

イ： そうなんですか。その後、オーストラリアでの生活はどうか。

田： 自分の会社を経営しています。今の給料は日本の会社のときほどよくないです。

でも、仕事の後で、子供と遊ぶ時間もありませんし、最近、テニスを始めたんですよ。

イ： 日本に住んでいた時とは、ずいぶん違いますね。

田： ええ、小さい会社なので、何でも自分でしなければなりません。でも、新しいことを覚えるのは楽しいですよ。働かされているというより、自分のために働いているという実感があります。

イ： そうですね。田中さん、本日はありがとうございました。

Text 3 – Radio talk back show

司： 司会（しかい）(Female)

佐： 佐藤（さとう）(Male)

司： 今、「日本人の若者は海外に行きたがらない」と言われています。若い時に日本を出ることはいいことなんでしょうか？じゃ、まず佐藤さんから。

佐： こんにちは。ぼくはオーストラリアに一年間^{りゅう}留学しました。外国に行って、当たり前だと思っていた価値観^{ちかかん}を見つめ直すのはいいことだと思いますよ。

司： 価値観^{ちかかん}、と言うと？

佐： ぼくの場合、英語学校にいるほかの国の生徒達と話しているうちに、自分の意見を相手に伝えることがとても大切ってことが分かったんです。

司： 日本でも同じじゃないですか？ま、今の若者はあんまり自分の意見とかちゃんと言えませんがね。

佐： 「言えない」じゃなくて、「言わない」んですよ。友達の意見に反対すると、^{きら}嫌われるんじゃないかと心配なんです。

司： ^{たし}確かにいつも自分の意見をいう人はちょっとね・・・

佐： でしょう？でも、オーストラリアの文化の中には、「人はみんな^{ちが}違う」という考え方があるからだと思いますよ。そして、「^{ちが}違うことは悪いことじゃない」って。

司： じゃ、「^{ちが}違うほうがいい」ということですか？

佐： いえ、そうじゃなくて・・・「^{ちが}違っていてもいい。意見を交換して、お互いを理解することが大切だ」ということだと思いますけど。いろんな事を話しましたよ。それに、いつも日本について色々聞かれるので、日本と言う国について考え始めたんです。

Text 3 (continued)

司： 日本について？

佐： はい、歴史や文化、それにマンガやテレビドラマのことまで聞かれますから。
「日本ってけっこうスゴイんだね」なんて、改めて自分が日本人だって意識しました。

司： 日本を代表するわけですか。

佐： そうなんですよ。そしておもしろいのは、日本人だけれど、「あなたは日本人だから・・・」って言われるのはイヤなんですよ。

司： あー、私達もよく言いますね。「アメリカ人は」とか。

佐： そうでしょ。でも気がついたら、「あなたの国ではどうなの？」「あなたはど
う思うの？」と聞き始めていましたね。

司： どうして「国」と「あなた」って分けるんですか？

佐： 「ナニナニ人は・・・」と決め付ける前に、その人を一人の人間として見るこ
とが大切だと思うようになりました。そして、その人を知るためにはお互いに
考えをちゃんと伝える事が必要なんですよね。